

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4982391号
(P4982391)

(45) 発行日 平成24年7月25日 (2012. 7. 25)

(24) 登録日 平成24年4月27日 (2012. 4. 27)

(51) Int. Cl.

F 1

GO 1 N 17/02 (2006. 01)

GO 1 N 27/26 (2006. 01)

GO 1 N 33/20 (2006. 01)

GO 1 N 27/00 (2006. 01)

GO 1 N 27/04 (2006. 01)

GO 1 N 17/02

GO 1 N 27/26 3 5 1 H

GO 1 N 27/26 3 5 1 P

GO 1 N 27/26 3 5 1 K

GO 1 N 33/20 N

請求項の数 7 (全 26 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2008-2829 (P2008-2829)
 (22) 出願日 平成20年1月10日 (2008. 1. 10)
 (65) 公開番号 特開2009-162706 (P2009-162706A)
 (43) 公開日 平成21年7月23日 (2009. 7. 23)
 審査請求日 平成22年12月13日 (2010. 12. 13)

(73) 特許権者 000211307
 中国電力株式会社
 広島県広島市中区小町4番33号
 (73) 特許権者 591260672
 中電技術コンサルタント株式会社
 広島県広島市南区出汐2丁目3番30号
 (74) 代理人 100074332
 弁理士 藤本 昇
 (74) 代理人 100114421
 弁理士 薬丸 誠一
 (74) 代理人 100114432
 弁理士 中谷 寛昭
 (72) 発明者 上治 實
 広島県広島市中区小町4番33号 中国電力株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 土壌中に埋設される鋼材の診断方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一部がコンクリートで覆われ且つ他部が土壌に接触する状態で土壌中に埋設される鋼材の診断方法であって、

少なくとも前記鋼材の対地電位と土壌の比抵抗とを測定し、

前記鋼材に発生し得る孔食の孔食深さと鋼材の対地電位と土壌の比抵抗と鋼材の埋設期間との間の相関関係を示す推定関数に基づいて、孔食深さの推定値を求め、

該孔食深さの推定値を用いて、孔食発生箇所における鋼材の腐食断面積を求めることを特徴とする鋼材の診断方法。

【請求項 2】

前記推定関数は、複数の孔食深さの実測値、鋼材の対地電位及び土壌の比抵抗の測定値を用いて求められた相関関数に対して、より多くの前記孔食において孔食深さの推定値が実測値を上回ることとなるように補正を行ったものであることを特徴とする請求項 1 に記載の鋼材の診断方法。

【請求項 3】

前記孔食深さの推定値に一定の値を掛けて孔食の長さを求め、

前記孔食深さ及び孔食の長さを用いて前記腐食断面積が求められることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の鋼材の診断方法。

【請求項 4】

前記鋼材は、構造物の支持部として用いられるものであり、

10

20